

各レッスンの文法項目とトピックリスト

4つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

- 1st Zone >>> 自分のことや身近な人のことを話す
- 2nd Zone >>> 日々の生活について話す
- 3rd Zone >>> したいことやしていることを話す
- 4th Zone >>> 説明する・自分の考えを話す

ZONE	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間	
	Introduction		5文型と品詞		1	
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2	
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2	
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2	
	4	現在完了形	経験	Experiences	2	
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2	
	Logical Writing ①		叙述文を書いてみよう!(高校入学前の出来事)			1
	1st Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう!(高校入学前の出来事)			1
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2	
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2	
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2	
	9	受動態	建物や交通	Buildings and Transportation	2	
	Logical Writing ②		意見文を書いてみよう!(学校に規則は必要か)			1
	2nd Zone まとめの活動		Logical Thinking 論理的に考える			1

1
学期

3	10	不定詞①	将来	The Future	2	
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2	
	12	不定詞③	電化製品	Electrical Appliances	2	
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2	
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2	
	15	分詞②	トラブル・問題	Trouble and Difficulties	2	
	Logical Writing ③		説明文を書いてみよう!(絶滅危惧種の動物)			1
3rd Zone まとめの活動		プレゼンテーションをしてみよう!(絶滅危惧種の動物)			1	
4	16	関係代名詞①	発明・発見	Inventions and Discovery	2	
	17	関係代名詞②	職業・社会活動	Career and Social Service	2	
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2	
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2	
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2	
	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2	
	Logical Writing ④		問題解決文を書いてみよう(日本の労働者不足)			1
4th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう!(都会の暮らしと地方の暮らし)			1	
Plus	Logical Writing ⑤		説得文を書いてみよう!(学校でのスマートフォン使用)		1	
	まとめの活動		ディベートをしてみよう!(学校でのスマートフォン使用)		2	
					計	54

2
学期

3
学期

授業2コマ／1レッスンのペースを想定した場合

	文法&活動 バランス型	文法主軸	活動主軸
導入 (1ページ目) モデル会話	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説	モデル会話を聞く ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説
定着 (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-GUIDE 確認問題 CHECK 言語活動 TASK	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 文法演習 ▶教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 授業では，教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い，宿題の準拠教材で補強する	基本例文確認 ↓ 文法解説 ▶ 文法参考書 ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 文法演習 ▶ 教科書 CHECK ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 余裕があれば活動 ▶ 教科書 A TASK 活動はメインのAのみ	基本例文確認 ↓ 文法演習 ▶教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 文法解説・演習は準拠教材に任せ，言語活動に時間を割く
発展 (4ページ目) 話す活動 SHARE 書く活動 WRITE	話す活動を行う ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ 書く活動を行う ▶教科書 WRITE	話す活動を行う ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ 書く活動を行う ▶教科書 WRITE パラグラフライティング	話す活動を行う ▶教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③グループで共有 ↓ 書く活動を行う ▶教科書 WRITE パラグラフライティング

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No. **I live far from here**, so **I usually take the train**. It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: **Oh, really!** You're lucky! I don't like the long train ride.

1 **Start-Up** 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

2 **Listening-TASK** True or False? 1. T/F 2. T/F 3. T/F

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えるときに，もう1つ情報を加えて返しましょう。会話にリズムが生まれ，その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

3 **Forms** 現在のことは現在形で表す
 現在のことを伝えるときには，**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと，「住んでいる」のような現在の状態や，「電車に乗る」など，**ふだん繰り返し行うこと**を表すことができます。
 I live far from here.
 I take the train.
 このような文の動詞の現在形が表すのは，「今」を中心として，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば，今現在だけのことではなく，「いつも徒歩通学なの?」とたずねているのです。

Expressions あいづちで関心を示す
 Oh, really!のようなあいづちを打つことで，「そうなんだ!」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really?**なら「そうなの?」というニュアンスです。**I see.**「なるほど」と言って，理解を示すこともできます。

Sounds /l/と/r/の発音
 /l/は舌先を上歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。
 live, lucky, long, usually, school / really, ride, from, train, friend
 light/right, lead/read, glass/grass, collect/correct

Talk
 会話の内容を確認し，MikeとShotaになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up 「学校には電車です」と言うとき，交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも通じますが，**I take the train** (to school).とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike[bicycle].という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

- 各レッスンでトピックを設定

 - ・モデル会話
 - ・基本例文
 - ・文法演習
 - ・活動
 - ・語彙

↑
トピックで統一

授業の流れ

- 1 Start-Upで文法の使われる状況・場面を確認。
- 2 Listening-Taskで会話の内容確認。
- 3 FormsやExpressionsで，文法や表現への理解を深める。

LESSON 1 Interactions(定着)

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習→演習(CHECK)が
終わったら、「学んだことをその場で使ってみる」活動(TASK)を通して文法の定着を図ります。

Interactions 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在のことを表す

現在形

- I **have** a cat and **love** him so much.
- I **usually get** to school at 8:30.
- My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。

- 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
- 繰り返しすることや習慣になっていることを表すとき。
- 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.)。

CHECK []から選んだ語を適切な形にして、現在のことを表す英文を完成させよう。

[walk / look / live / have / import / work / support]

- My grandfather () in Okinawa. He () his dog every day.
- Andy () twin sisters. They () like each other.
- Sara and I are soccer fans. We () the local team.
- My uncle () for a trading company. He () coffee beans.



CHECKの
解答参考に

TASK1 CHECKを参考に、自分や家族など、身近な人について友人に紹介する文を3文で書いてみよう。

書いたことを使って話す

TASK1
書く

TASK2 ペアになってTASK1で書いたことを話してみよう。相手はE-GUIDEの表現を使って反応したり、質問したりしよう。

- 例 A: My brother **is** a university student. He **works** part-time nowadays.
B: Really? What **does** he do?
A: He **works** at a hamburger shop. I sometimes **go** there after school.

TASK2
話す
やり取り

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

- ・ I see. (なるほど、わかった) ・ I think so, too. (私もそう思います) ・ Is that true? (本当に?)
- ・ I can't believe it! (信じられない!) ・ Really! (そうなんだ!) / Really? (本当?, そうなの?) ・ No way! (ありえない!)
- ・ That's nice [good / great / wonderful / fantastic]! (すばらしい!) ・ That's too bad. (それはお気の毒に)

Vocabulary

- ・ be good at (～が得意である)
- ・ resemble (look like) (～に似ている)
- ・ be a graduate of (～の卒業生である)
- ・ work for [in, at] (～で働く)
- ・ leave for school (学校に出かける)
- ・ walk to school (徒歩通学する)
- ・ wait for the bus (バスを待つ)
- ・ belong to (～に所属している)
- ・ walk one's dog (犬の散歩をする)
- ・ brush one's teeth (歯を磨く)
- ・ get dressed (着替える)
- ・ have [eat] breakfast (朝食をとる)

B 途中であることを表す

現在進行形

- I'm **writing** an essay for my English class.
- I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am/are/is+動詞のing形)を使う。

- 現在している最中のことを表すとき。
- 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.)を表すとき。

CHECK []から選んだ語を適切な形にして、英文を完成させよう。 [wear / get / take]

- After a long discussion, they _____ a break now.
- It _____ dark. Let's go home.
- My sister _____ a suit for today's ceremony.

TASK イラストの状況を想像して説明する文を、語句を参考に書いてみよう。



- 例 1. Ren **is listening** to music. He **is singing** along. Maybe it is his favorite song.

C これからの予定を表す

現在進行形: 予定

- My grandmother **is visiting** us tomorrow.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形を使って予定を表すことができる。

- これからしようとしている個人的な予定を表すときに現在進行形を使う(「いつするのか」を示す表現を入れる)。

CHECK ()に適切な語を入れて英文を完成させよう。

- "What are you () after class?" "I'm () tennis with my sister."
- My mother and I are () shopping this weekend.

TASK 今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。

活動(TASK)のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。TASKでどの活動ができるか一目瞭然。

- やり取り
- 発表
- 書く
- 協同学習

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在のことを表すことができる。
- B 途中であることを表すことができる。
- C これからの予定を表すことができる。

Input

文法の確認

- 6つの基本例文
- 簡潔な文法解説 (F-GUIDE)
- 文法確認(CHECK)

Output

文法の定着

- コンパクトな活動 (TASK) で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASKをサポート

QR

フラッシュカード音声付

>>>p.32

多種多様なワークシートで文法学習 (Input)も活動(Output)も徹底サポート >>> pp.26-27

Input

Output

LESSON 1 Active Learning(発展)

SHAREとWRITEで、
各レッスンの総仕上げ
をすることができます。

SpeakingのGoal

やり取りの例で
取り組みやすく

- ①の例を使ってペアまたはグループでやり取り。
- ②メモを元に発表。

Active Learning Meeting People

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

① クラスメイトにインタビューして、集めた情報をメモしよう。

- Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport [food/subject]?

name / school	_____ went to _____.
train / bus / bike / walk	He/She _____.
free time	He/She _____ in his/her free time.
favorite thing	His/Her favorite _____ is _____.

② インタビューしたクラスメイトのことをグループで紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

WritingのGoal

ステップを踏んだ
学習が可能

- ①でアイデアを書き出し、②で文を組み立てて、英文を書く。

WRITE 「朝の習慣」について書こう

① 自分が朝していることを書き出そう。

- I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast.
I ride my bike to school. It takes fifteen minutes.

② **and** や **first, then, after that** などを使って、時間の流れにそって朝の習慣を書いてみよう。

- I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed, and then I **eat** breakfast. I sometimes **take** my dog for a walk. After that, I **leave** for school at 7:15.

Self-Check ✓
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。☑☑☑
朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。☑☑☑
☑: よくできた。☒: まあまあできた。☐: あまりできなかった。

Logical Thinking

自分のことを伝えるときに、I play the piano. I read many books. のようにばらばらの事実を並べるだけではつながりがない文章になってしまいます。I play the piano. I love classical music. のように、前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。

充実のワークシートで
サポート >>> p.27

LESSON 16 Start-Up(導入)

LESSON 16 Inventions and Discovery

発明・発見について話す



Start-Up Shotaが自分の部屋で、Mikeに何かを見せています。

Shota: **What do you think of this? It's a present that my aunt sent me.**

Mike: **The aunt who lives in Osaka?**

Shota: Yeah, that's her. **She works at a company that sells these things.**

Mike: It's just a toothbrush, isn't it?

Shota: Yes and no. There are smartphones and smartwatches, right? Well, this is a smart toothbrush!



Listening-TASK 1. T/F 2. T/F 3. T/F

Tips for Better Communication 自分の考えを断定的に伝えるのではなく、It's just a toothbrush, isn't it?のように付加疑問を使うと「～だよな」と語調をやわらげることができます。

Forms 関係代名詞を使って名詞に説明を加える

「大阪に住んでいる叔母さん」と言うときは、the aunt という名詞のあとに **who** lives in Osaka という説明を加えます (the aunt ← **who** lives in Osaka)。この **who** のように、名詞がどのような人[もの]なのかを限定する使い方を、**関係代名詞の限定用法**といいます。

「これらを販売している会社」の場合も、(a company ← **that** sells these things) という語順で表します (that は関係代名詞です)。**which** を使うこともできます。

「プレゼント」に「私の叔母さんが送ってくれた」という説明を加える場合は、a present **that** my aunt sent me のように関係代名詞 **that** (または **which**) に〈主語+動詞〉を続けるか、名詞に〈主語+動詞〉を直接つけて a present my aunt sent me とします。

Expressions 感想をたずねる

What do you think of [about] ...? または **How do you feel about ...?** という表現を使って、「どう思う?」と相手に感想をたずねることができます。How was ...? 「…はどうだった?」というたずね方もあります。

Sounds /s/ の発音

sell の /s/ の音は、舌の先を上歯茎に近づけて、すき間から強く息をもらすようにして発音します。

send, sell, smartphone, stay, sea, swim, message, face, nice

Talk

会話の内容を確認し、ShotaとMikeになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up Yes and no. は「どちらとも言えない」という意味です。この場面では「ただの歯ブラシとも言えるし、そうじゃないとも言える(見方による)」というニュアンスです。

QRコード

- Start-Up
- Sounds
- 基本例文
- E-GUIDE
- Vocabulary

音声やフラッシュカードで学習できる。

>>> p.32

リスニング問題例

Listening TASK

LESSON 1

- True or False
- Shota walks to school.
 - Mike takes about an hour-long train ride to school.
 - Mike doesn't like to walk.
1. T 2. T 3. F



LESSON 16 Interactions(定着)

Interactions 技術・発明・発見・偉業について話す

A 名詞に〈関係代名詞+動詞〉を続けて説明を加える

主格: 主語のはたらき

- ① The person **who** discovered X-rays was a German scientist.
- ② They're creating robots **that** will help people with disabilities.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は主語のはたらきをする。

- ① 人を表す名詞に説明を加えるときは関係代名詞 **who** を使い、その人が何をするのか・したのかを説明する。
- ② 人以外を表す名詞に説明を加える場合は、関係代名詞 **that** か **which** を使う (robots which will help people ...)。
- ③ 「その〜は」と説明を加えるときは、所有格の関係代名詞 **whose** を使う (I have a smartphone whose screen can be folded.)。

CHECK () 内の語句を並べかえて英文を完成させよう。

1. Do you know anything (who / the person / about / invented) the printing machine?
2. Steve Jobs founded a company (attracted / people / that) who shared his passion.
3. He created various devices (have changed / which / of / our ways) communicating.
4. She is a biologist (discovery / a huge impact / whose / had) on medical science.

TASK 1 私たちの生活に大きな影響を与えたものについて調べ、説明する文を書いてみよう。

- ④ instant noodles (インスタント麺), 3D printers (3Dプリンター)
- drones (ドローン), lithium-ion batteries (リチウムイオン電池)



TASK 2 ペアになって **TASK 1** で書いたことをそれぞれ発表しよう。終わったら **E-GUIDE** の表現を使って相手に感想をたずね、会話を続けよう。

- 例 A:** Let's talk about instant noodles. Do you know about the person **who** created instant noodles? His name was Ando Momofuku. What do you think of his invention?
- B:** Well, I'm a big fan of instant ramen. I can't imagine life without it.
- A:** Yes, exactly. He was a great person **whose** inventions had a great impact on our food culture.

E-GUIDE 相手に感想をたずね、会話を続けよう。

- ・What do you think of [about] ...? (...をどう思いますか) ・How do you feel about ...? (...をどのように感じますか)
- ・How was it? / How did you enjoy it? / How did you like it? (どうでしたか)
- ・What is/was your impression of ...? (...の感想は?)

Vocabulary

- ・contribute to (〜に貢献する)
- ・do research (研究する)
- ・introduce (紹介[導入]する)
- ・found (設立する)
- ・inspire (奮い立たせる)
- ・impress (感動させる)
- ・respect [look up to] (〜を尊敬する)
- ・set a record (記録を打ち立てる)
- ・win a prize (賞をとる)
- ・have an impact (影響を与える)
- ・imaginative (想像力に富んだ)
- ・innovative (革新的な)

B 名詞に〈関係代名詞+主語+動詞〉を続けて説明を加える

目的格: 目的語のはたらき

- ③ The world record **that** he set in 2016 has not been broken yet.
- ④ Tell me about the person **whom** you admire the most.
- ⑤ The products **she invented** have helped many people around the world.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は目的語のはたらきをする。

- ③ それをどうするか・どうしたのかを説明するときは、関係代名詞 **that** か **which** を使う。
- ④ 人についての説明を加える場合は **whom** を使う。ただし whom の代わりに who を使うことが多い。
- ⑤ 目的格の関係代名詞を使わず、名詞に直接 (主語+動詞) を続けて説明を加えることも多い。

CHECK () 内の語句を並べかえて英文を完成させよう。

1. Wi-Fi is (invention / a great / we / use / that) almost every day.
2. The scientist (the most / whom / respect / I) is Dr. Noguchi.
3. The (made / heater / no / they / uses) electricity and is environmentally friendly.

TASK 写真の防災井戸 (a well pump) について () に適切な語を入れ、続きを書いてみよう。



This is a well pump () people can use in times of disaster. When the water supply is stopped, they can get clean water from it. There will be many people () we can help with this pump. ...

C 説明を加える関係代名詞節で前置詞を使う

前置詞の目的語のはたらき

- ⑥ This is the new vaccine **that** we have been waiting **for**.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は前置詞の目的語のはたらきをする。

- ⑥ 関係代名詞は前置詞 **for** の目的語のはたらきをしている (we have been waiting for the new vaccine)。
- 関係代名詞を使わずに the new vaccine we have been waiting for とすることもできる。また、the new vaccine for which we have been waiting のように前置詞を関係代名詞の前に入れることもできる (for that は不可)。

CHECK () 内の語句を並べかえて英文を完成させよう (それぞれ2通りの文が可能)。

1. The scientist (talking / the teacher / is / whom / to) is a Nobel Prize winner.
2. We visited the laboratory (which / was / he / doing research / in) .

TASK 科学者または何か偉業を成し遂げた人について調べ、紹介する文を書いてみよう。

- ④ The person **that** I'm going to talk about is

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 関係代名詞+動詞で説明を加えることができる。
- B 関係代名詞+主語+動詞で説明を加えることができる。
- C 関係代名詞と前置詞を使って、説明を加えることができる。

TASKの補助はワークシートで

書くためのステップを示すCHECK-TASKワークシートで、丁寧な説明と資料を提供。

TASKの空所補充問題

- 空所補充問題で文法事項を確認。
- 学習文法項目を使う場面や状況の英文が書くヒントに。

音声アイコン

TASKの解答例を音声で提供。ワークシートを使ってリスニング問題にも活用できる。

LESSON 16 Active Learning (発展)

各Zoneの構成

本課で学習したこと、活動した内容が、Zone末のまとめの活動で活用できる構成になっています。

Active Learning Developing Ideas

SHARE 偉人を紹介しよう

① 次の3人の偉人について、与えられた語句を参考に、紹介する文を考えよう。



Marie Curie
Polish scientist
discover radium
win two Nobel Prizes



Steve Jobs
American entrepreneur
co-founder of Apple Inc.
lead IT revolution



Edward Jenner
British doctor
discover vaccines
save millions of lives

② ①の人物、または自由に発明家や偉人を選んで、その人物について調べたことをペアまたはグループで発表しよう。

例 Alexander Graham Bell was the Scottish-born inventor **who** created the telephone in 1876. The first phone call **that** he made was to his assistant, Thomas Watson. The communication tool he invented surprised many people.

WRITE 発明品を考えよう

発明品を自由に考えてみよう。そしてその発明品が何を可能にするか紹介する文を書こう。

- 発明品 time machine
- できること It can take you to the past or the future.

例 I invented a machine **that** takes you to the past or the future. Yes, it is a time machine! It looks like a telephone box. You can choose the year you want to travel to. Do you want to try the machine **that** I invented?

Self-Check

発明家や偉人を紹介することができた。

自分の考えた発明品を紹介する文を書くことができた。

Logical Thinking

想像したことやものを説明するときは、自分の頭のなかにあるアイデアがどうすれば相手に伝わるか考えて、文章を組み立てましょう。形や大きさなど、イメージが浮かびやすい概要をまず伝え、そのあと具体的な説明をします。伝える内容を箇条書きにして、どの順番で書くか構成を考えましょう。



本課を学習



Zone末の活動へ

各Zone末に、Logical Writing (書く活動) pp.16-17) とまとめの活動 (やり取り・話す活動) pp.18-19) をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので (pp.4-5), 本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ、スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing ①	叙述文を書いてみよう! (高校入学前の出来事)
	1st Zoneまとめの活動	スピーチをしてみよう! (高校入学前の出来事)
2nd Zone	Logical Writing ②	意見文を書いてみよう! (学校に規則は必要か)
	2nd Zoneまとめの活動	Logical Thinking 論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing ③	説明文を書いてみよう! (絶滅危惧種の動物)
	3rd Zoneまとめの活動	プレゼンテーションをしてみよう! (絶滅危惧種の動物)
4th Zone	Logical Writing ④	問題解決文を書いてみよう (日本の労働者不足)
	4th Zoneまとめの活動	ディスカッションをしてみよう! (都会の暮らしと地方の暮らし)
Plus	Logical Writing ⑤	説得文を書いてみよう! (学校でのスマートフォン使用)
	まとめの活動	ディベートをしてみよう! (学校でのスマートフォン使用)

1st Zone Logical Writing (Zone 末活動①)

論理的な文章のスタイル(叙述文・意見文・説明文・問題解決文・説得文)を、ステップを踏んで学習することができます。

特色①
特色②
特色③

Zone内の各活動がトピックと連動
本レッスンの学習や活動が生かせる。

本レッスン内のTASK
Zone末活動①
Logical WritingのTASK
Zone末活動②
スピーチのTASK
» pp.18-19

Logical Writing ①



叙述文を書いてみよう!

叙述文とは

自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは、自分のことを述べたり、楽しかった出来事について述べたり、休日のことや行ったことがある場所のこと、学習や課外活動について述べたりする活動をしてきました。このLogical Writing ①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100~130語の叙述文(a narrative paragraph)を書いてみることにします。

TASK 思い出に残っている高校入学前の出来事について、100~130語のパラグラフを書こう。

叙述文の書き方

叙述文では、出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず、導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ、最後に感想などでまとめる、というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入** どんな出来事について述べるのかを示す(いつ、どこで、だれが、何をしたのか)
- 内容** 出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる
- 感想** 出来事に関する感想や学んだことなどを述べる

まず、次のパラグラフを読んでみましょう。

My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから、出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また、読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

形式を確認

叙述文に限らず、英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ(インデント)はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や、コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション(句読法)は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

叙述文で使う表現

叙述文では、時間の前後関係を表す次のような表現を使って、出来事の流れがわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next
when, while, before, after, as soon as

また、いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形、過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では、次のステップに従って、**TASK**で示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

STEP 1 何について書くか考える

まず、どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 アウトライン(あらすじ)を書く

読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで、「3」をつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

STEP 3 パラグラフを書く

アウトラインができれば文章にしていきます。書き終えたら「4」を付けます。

STEP 4 リバイズ(修正)する

パラグラフを書き終えたら、ペアの相手かグループのほか、チェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い、書

ライティングチェックリスト

- 形式**: タイトル、インデント、パンクチュエーションなど形式は
- 構成**: 時間軸にそって出来事が書かれているか
- 内容**: 出来事の内容が伝わるように書かれているか
- 文法**: 時制(動詞の形)は適切か
- 表現**: 時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

TASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい、ステップを踏んでTASKに取り組めるワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。» p.25

Logical Writing ワークシート

TASK
思い出に残っている高校入学前の出来事について、100~130語のパラグラフを書こう。

1. 出来事に関して、メモにまとめましょう。

When?	
Where?	
With whom?	
What did you do?	
How did you feel?	
Why is it important?	

2. Writing (the first draft) - 下書きを書いてみましょう。

()

スピーチをしてみよう! (Zone末活動②)

本課で学んだことや活動した内容, Logical Writing (pp.16-17) で書いたことを生かして, Zone末のまとめの活動として, スピーチ, プレゼンテーション, ディスカッション, デイバートをを行います。

Speech



スピーチをしてみよう!

スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら (アイコンタクト) 語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です (ただし, 不自然にならないように)。

TASK 1 思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは, 110~140語の文章を読むことができます。したがって, この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは, まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチなら Hi, everyone. I'm Hana. のような短いものでよいでしょう。次に, スピーチのテーマや目的を I'd like to talk about / I'm going to talk about のように伝えてから, スピーチの内容へと入っていきます。

ここで, モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は, my first day in Seattleだけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだろう」「どんなことがあったんだろう」と聞く人は思うでしょう。また, Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば, Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain. のような内容が考えられます。

Logical Writingとセットで取り組める TASK

- Logical Writing で書いたパラグラフを, スピーチ原稿に改編。
- 「発表」の活動に集中できる構成。

スピーチをしてみよう!

では, Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして, 次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく, みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにはっきりと聞こえるように, 声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して, 必要なところにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします (楽しかった場面は楽しそうに)。
- 最後は Thank you. / Thank you for listening. でスピーチを終わります。
- 聞いている人は, スピーチが終わったら拍手をしましょう!

全員のスピーチが終わったら, **TASK 2** に挑戦してみましょう。

TASK 2 思い出に残っている高校入学後の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

何について話すか考える

STEP 1 まず, どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

アウトライン (あらすじ) を書く

STEP 2 読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで, 「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくります。

スピーチ原稿を書く

STEP 3 アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

発表する (スピーチ)

STEP 4 スピーチ原稿ができたら, ペアまたはグループになって発表し, 聞いた留意点に気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし, 次のチェックリストを使って気づきを伝えましょう。また, 発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょう。

スピーチチェックリスト

- アイコンタクト・姿勢: みんなのほうを見て話していたか
- 声の大きさ・速さ・ポーズ: 聞きやすかったか
- 発音・抑揚: 棒読みになっていなかったか
- 構成: 「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- 内容: 聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話す TASK に無理なく取り組めるワークシートをご用意

話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように, アイデアだしのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データ DVD-ROM」に収録。 >>> p.25

Zone末活動用ワークシート

- スピーチで大切なこと
- スピーチでは最初の「**つかみ**」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。
1. 次のテーマで話すときに, どのような「**つかみ**」が考えられますか。それぞれ 1~2 文で書いてみましょう。
- ① 富士山に登ったことを話す場合
 - ② ギターを習い始めたことを話す場合